

「地域コミュニティ助成」の有効活用と、パートナーシップの関係を大切にし、様々な協働を育むよう取り組みを進めてまいります。

また、町民活動団体の連携強化を図るための体制づくりを進めるとともに、一人ひとりが大切にされる優しいまちづくりを基本とした八雲町男女共同参画プランの具体的な事業展開を図ってまいります。

### ■国内外の交流の推進

名古屋市・小牧市・松江市八雲町や八雲町出身者等との交流を通じ、経済や地域の活性化にも結びつくよう事業の推進を図ってまいります。

移住推進事業は、町民や関係団体との連携・協力の下に、人口減少対策および地域経済活性化に資する施策の一つとして引き続き積極的に対応してまいります。

また、地域力の維持・強化を図るための取り組みとして総務省が推進する「地域おこし協力隊」を活用し、地域外の人材を積極的に誘致し、地域おこし活動

に従事させ、その定住・定着を図る取り組みを推進してまいります。

### ■情報通信の強化

全町ブロードバンド化はほぼ達成できていますが、一部未整備地区の解消に向け情報提供をしてまいります。

また、商工業者や各種団体等のインターネットを活用した起業や営業活動等に對しても技術指導など積極的な支援を行うとともに、インターネットを活用するビジネスモデル等の研究を進め引き続き支援してまいります。

テレビ放送の完全デジタル化に伴う新たな難視地区に對し、情報提供を図りながら共同受信施設整備への支援をしてまいります。

### ■新たなまちづくりに向けた行財政経営の推進

行財政経営は、「協働」と「改革」を軸に町民と行政との情報共有やコミュニケーションを図りながら推進してまいります。

効率的で持続可能な行財

政を確立するため、八雲町行財政改革大綱に基づき「事務事業等見直し方針」を推進するとともに自主財源の確保を図り、財政健全化の早期実現に努めてまいります。

また、町民ニーズを適切に把握するとともに、行政評価システムにより町民の視点を生かした事務事業の改善を推進し、予算編成へ反映させるよう努めてまいります。

東日本大震災を教訓に自治体業務のBCP（事業継続計画）が重要視されています。八雲町においても基幹電算システムのクラウド化を進めるとともに、IT部門におけるBCP計画の策定にも取り組んでまいります。

広域行政の推進については、北渡島・北部檜山4町地域連携会議で各分野において検討しておりますが、道南北部の中心的役割を担う町としてこれからも主体的な役割を担ってまいります。

受章おめでとう  
ございます

## 消防庁長官永年勤続功労章

八雲町八雲消防団 第六分団長

櫛桁 啓治さん（落部）

櫛桁啓治さんは、昭和52年1月に八雲町消防団に入団以來、現在まで36年以上の永きに亘り、鉄工所を経営されながら、消防団員として幾多の火災や災害に出動し、地域防災に尽力されました。

平成17年10月の市町村合併時においては、八雲・熊石両消防団の組織づくりに尽力され、同年11月より分団長として、消防資機材の整備推進や団員の教育訓練等を積極的に実施し、あらゆる災害に對応できる消防体制づくりに努力されました。

八雲町熊石消防団 第三分団長

泉谷 佑治さん（熊石相沼町）

泉谷佑治さんは、昭和53年9月に檜山広域消防組合熊石町消防団に入団以來、現在まで34年以上の永きに亘り、菓子製造販売業に従事される中、消防団員として幾多の火災や災害に出動し、地域防災に尽力されました。

平成21年4月より分団長として、豊富な消防経験を基に団員の育成指導、消防施設の整備等にも積極的に取り組むなど消防団組織のさらなる向上発展に大きく貢献され、複雑多様化する各種災害に對応できる消防体制づくりに努力されました。